

第 5 期 YRP5 ヶ年ビジョン

タイトル：「業種、分野を超えた人材、技術、ニーズ、地域社会資源が連鎖する
新世代イノベーションパーク」

【技術トレンド及びビジネストレンド】

◇①5G や IoT の実用化、②光ネットワークと放送技術の高度化、③4K8K 映像伝送、自動走行、ドローン、ワイヤレス電力伝送、サイバー応用などの新たな技術応用の開発、が加速化し、相互に複合化してきている。

◇特に、5G や IoT のアプリケーション開発において、ユーザーとともにニーズから開発するパーソナルな（デザイン思考の）イノベーションの進め方が拡大しつつある。

◇モビリティなどを基盤とする第 3 のプラットフォームにおいて、ハード・ソフト両方に強い企業が、クリエイティビティ、イノベーション、知識集約などにより先行者利益を確保し成長企業となる。

【YRP の優位性】

◇他に負けない YRP の優位性（強み）は、モバイル・IoT・ICT 分野の最先端の技術と人材であり、地理、事業環境、自然気候などにおいても優れている点がある。

【YRP がチャレンジする目標】

◇多様な社会や異分野・異業種に属する人、団体、企業などが、自由に参加し連携下で実施する変革（オムニ（全方向）オープンイノベーション）の創出を進める。

◇いつでもだれでも来ることができて、自然に囲まれリゾート感覚あふれる環境でワークライフバランスのとれた就業が可能な「人が集まる健康的で面白く楽しい YRP」となる。

◇オムニオープンイノベーションの成果や取組みがより広く活用されるように YRP の活動をグローバルに広く周知し、普及伝播させていく。

【目標を達成するための取組みの柱】

< 1. 新ビジネス創出支援 >

◇卓越した YRP の技術と人材を核として、ユーザーやベンチャーを含む産学官とのマッチングや緊密な交流を促進し、モバイルや IoT 分野はもとより AI、BD、ロボット、自動走行、ドローン、4K8K、サイバー応用などの分野の技術と人材を呼び込んで新ビジネスやベンチャーの創出を促進し、支援する。

< 2. ICT ソリューションの実証・実装 >

◇ICT、放送、情報サービスなどの実証事業を積極的に組成、誘致し、テストベッド整備、特区、ユーザー参加などによるハードからソフトまでを包含したバーティカルにもホリゾンタルにもオープンな実験・実証・実装のためのオムニオープンイノベーション環境を整える。

◇AI、ロボットなどを含めた幅広い技術を基盤に、異分野や異業種の機関、地域社会と一体となって多様なタスクチーム（特別目的作業班）やプロジェクトを形成し、社会課題や地域課題の解決に資する効果的かつ持続的な ICT ソリューションの実装を進める。

< 3. 人材育成、研修、訓練 >

◇技術やビジネスのトレンドに即した知識やスキルを身につけ、YRP、所属団体、出身国などの発展を担うように、国内外を問わず ICT ソリューションに関わる提供者、利用者、指導者及び学生を対象とする人材育成や教育を進めるとともに、YRP 関係機関へのインターンシップなどの実践的実効的な手法を取り入れる。

< 4. 対外連携と情報発信 >

◇YRP の技術、ソリューション、サービス、ビジネスなどをグローバルからローカルまで広く情報発信し、普及展開するため、国際連携、サイエンスパーク間連携、多メディア活用、イベントなどに取り組む。

◇多様な社会や異分野・異業種に属する人、団体、企業などが、自由に参加できる「人が集まる健康的で面白く楽しい YRP」及び YRP 外部の人材や技術と YRP の人材や地域コミュニティが連鎖して新しい価値を創造する「新世代イノベーションパーク YRP」のイメージを広く伝えていく。